

一 般 質 問

令和5年第5回(12月)三股町議会定例会

1

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	田中 光子	1 重点支援地方交付金について	① エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う、低所得世帯支援や子育て世帯支援はどのように考えているか	町長
			② 低所得世帯支援枠について1世帯当たり7万円を追加する旨が盛り込まれたことを踏まえ、年内の予算化に向けた検討を進めていただけないか	町長
			③ エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた事業者、医療・介護・保育施設、学校施設等に対する物価高騰対策支援は	町長
		2 独居高齢者支援について	① 介護保険を利用していない、独居高齢者の把握は	町長
			② 独居高齢者の支援はどのように行われているのか	町長
			③ 一人でも快適に暮らし続けるために、起こる可能性が高い問題について対策は	町長
			④ 独居高齢者の場合、孤独感が増し、寂しさや生きづらさを感じることもあると考えるがどのような支援があるか	町長
			⑤ 地域の助け合いに加え、見守り協定は結ばれているか？ 団体によるゆるやかな見守り体制の構築が必要ではないか？	町長
			⑥ 最期までその人らしく暮らし続けられるように、地域が主体となって高齢者を支援する体制は	町長
			⑦ 孤独死が発生しないように地域全体を網羅する重層的な見守りの実施が必要だが対策は	町長
2	西村 尚彦	1 三股町公共施設等総合管理計画(2017年度～2046年度)について	① 平成28年度に策定されたこの計画の趣旨は。また、令和3年度に改訂されているが、どのような改訂がされたのか。	町長
			② 現在の公共施設(公共建築物、インフラ資産)の状況と課題をどのようにとらえているか。特に、保有量(県内及び類似団体との比較)、老朽化の度合い、維持管理費等からどのようにとらえているか。	町長
			③ 公共施設等の将来更新費用はどのように推計されたのか、将来、この費用が増大する可能性もあるのか。	町長
			④ 個別施設計画はどれくらい進んでいるのか。すでに策定されている個別施設計画の概要と今後、策定すべき個別施設の予定は(いつ頃までに策定されるのか)	町長
			⑤ 計画が策定され6年になるが、これまでの進捗状況は(公共建築物、インフラ資産それぞれ)。また、予定どおり進んでいるのか。	町長
			⑥ 目標達成のために具体的にどのような取り組み方針で行うのか。また、財源確保はどのように考えているのか。	町長
			⑦ 現在、緊急に更新や補修が必要な公共建築物はあるのか。また、その優先順位をどのように判断するのか。	町長
			⑧ 交流拠点施設整備事業で計画されている町民交流施設と公共施設等総合管理計画との整合性は。	町長
			⑨ この計画を推進するための庁内の体制をどう構築するのか。また、施設の更新、統廃合等を行う場合、町民の意見集約や周知・情報公開はどのように行っていくのか。	町長

一 般 質 問

令和5年第5回(12月)三股町議会定例会

2

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	
3	上西 雅子	1 不登校児童への支援について	① 文部科学省から令和元年10月に通知された「不登校児童生徒への支援の在り方について」の内容を踏まえ、町としての支援の実践は。	町長 教育長	
			② 10月に開始された「子ども未来応援団体タテヨコナメ」主催の「ひる学校」について、町はどのように評価されているのか。	町長 教育長	
			③ ①の通知における「多様な教育機会の確保」の内容を踏まえ、「ひる学校」を利用する児童に対して、出席扱いとする等の評価をし、学校・行政(教育・福祉)・民間が連携して支援をしていく事が必要なのではないか。	町長 教育長	
			④ 今後、「ひる学校」の利用希望者の中に、経済的な事を理由に利用できないとする方に対して、町による福祉的支援が必要ではないか。	町長 教育長	
	2	精神障がい者に対する「重度心身障害(児)者医療費助成制度」の対象拡大について	① 身体・知的障がい者にはある「重度心身障害(児)者医療費助成制度」は、精神障がい者のみ対象となっていない。対象拡大の見直しが必要ではないか。(宮崎県基準に則ったものではあるが、47都道府県中、38都道府県は精神障がい者1級が対象となっている。)	町長	
			3 町図書館の利用について	① 町図書館の利用人数の推移は。	教育長
				② 利用人数を増やす為の工夫はされているのか。	教育長
	4	堀内 義郎	1 三股町DX推進基本計画について	① DXを進めるため民間との協定締結等、一体となって取り組んでいきたいとの事であったが、進捗状況は。	町長
				② 連結協定など、インターネットと繋がっていない専用回線(LGWAN)についてはどうか。	町長
				③ 業務の効率化を図るため、自治体によって生成AI(チャットGPT)の導入が進んでいるが、本町としての取り組みは。	町長
④ 個人情報保護及びセキュリティを担保するため、生成AIの効果的な活用を行うために規定を定める事についてはどうか。				町長	
⑤ 商工、農業、観光の分野についてもデジタル化を検討するとあるが、具体的な内容は。				町長	
⑥ 生成AIを学校教育で活用する予定はあるか。				教育長	
2		危機管理について	① 危機管理係に防災経験者が配置されていない理由は。	町長	
			② 今後の危機管理として、多発する台風や地震(南海トラフ巨大地震)などの自然災害や有事に備え、対応するためにも配置すべきではないか。	町長	
3		給食費について	① 物価高に伴い、食材費や燃料費の高騰による給食費の影響について、及び無償化への方針は。	町長 教育長	
4		国際交流について	① インバウンドの回復により、国際交流を進めるため台湾と友好都市の提携は考えられないか。	町長	
5	山中 則夫	1 町政の諸課題の取組について	① 三股町交流拠点施設整備事業については、PFI方式を進めていくのか。暮らしに関わる他の事業を優先すべきではないか。	町長	
			② 上記事業については、都城市のやり方(旧大丸デパート跡地)ではいけないのか。	町長	
			③ 牛ノ峠バイパス区間の工事の流れは、今後どう進展するのか。	町長	
			④ 今後、駅前の物産館(よかもんや)はどうなるのか。	町長	

一 般 質 問

令和5年第5回(12月)三股町議会定例会

3

発言 順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の 相手
6	内村 立吉	1 教育現場での新聞活用について	① 学校など教育現場で新聞を活用するNIE(新聞活用学習)の2023年度実践指定校に梶山小学校が選ばれています。選ばれた理由、内容はどのようなことか。	教育長
			② 町内、他の小中学校の取組みについてはどのようなか。	教育長
		2 公用車の車検について	① 自治体の公用車が車検が切れた状態で走行する事案が相次いで発覚しているとのこと。本町では、このようなことはないか。	町長
			② 公用車の管理についてはどのようなか。	町長
		3 第64回宮崎県畜産共進会(牛枝肉)について	① 内容はどのようであったか。	町長
			② 前年度と比較して、枝肉重量、枝肉単価はどのようであったか。	町長
			③ 一価不飽和脂肪酸はどのようであったか。	町長
			④ 出品牛で種雄牛(1番目、2番目)はどのようであったか。	町長
		4 2022年度台風14号の被害状況について	① 福留地区の榊山用水路の現在の工事状況及び今後の工事の状況はどのようなか。	町長
			② 上米公園の斜面崩壊の現在の工事状況及び今後の工事の状況はどのようなか。	町長
7	中原 美穂	1 三股町民俗芸能について	① 三股町内に残る民俗芸能(郷土芸能)の保存継承について町長の意見は。	町長 教育長
			② 本町の民俗芸能は、郷土芸能の一分野として文化財係と文化振興係、双方の取り扱いとなりますが、それぞれ担う役割は。	教育長
			③ 後継者不足にて、各団体の方々が悩まれますが、次世代の担い手の教育、育成については、小学生・中学生の練習環境の整備が重要です。小中学校における、郷土芸能の担い手育成支援について、今後どのような取組を三股町として考えているか。また、今後どのような支援を検討されているのか。	教育長
			④ 小中学校での民俗芸能の実施について、現状では運動会前の練習に限られており、郷土芸能保存会のボランティアにて支援されている。保護者や保存会メンバーも含め、貴重な時間を割いて指導して頂いている状況である。状況を踏まえ予算や支援の検討の考えは。	教育長
			⑤ 三股町HP内の三股町の民俗芸能に関する情報が、2019年9月2日から更新されていないが、何か理由があるのか。	教育長
			⑥ 民俗芸能の一つの課題として、発表の場が限られていることが問題としてあるが、民俗芸能発表の場を多く設ける機会づくりを町としてはどのように考えているか。ふるさと祭りを利用した発表の場等で一部の民俗芸能は披露されているが、民俗芸能保存の観点から持続的な発表の場の提供等は検討されないのか。	教育長
			⑦ 令和4年4月1日に文化財保護法が改正され、無形文化財と無形民俗文化財を対象とした登録制度が新設されている。本町においても独自に登録制度を設ける考えはないのか。	教育長
			⑧ 本町における補助金33,000円支援しているが、団体人数含め金額設定はどのように決められているか。	教育長
		2 くいまーるについて	① くいまーるのバス停の名称は、なぜ地区の名称を使用しているか。	町長
			② コミュニティバス新路線の実証実験(無料運行)についての気づきなどはあったのか。	町長

一 般 質 問

令和5年第5回(12月)三股町議会定例会

4

発言順位	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8	岩津 良	1 キャリア教育について	① 三股町における「キャリア教育」の定義と具体的な取り組みや実績はどのようなものですか。	町長 教育長
			② 将来の夢を個別具体的に持たせることが向学心を育む事につながると考えられますが、見解は。	町長 教育長
			③ キャリア教育の成果をどのように検証していますか。	町長 教育長
			④ 働く事の意義や意味について、どのように児童生徒に伝えていますか。	町長 教育長
			⑤ 都城・北諸園等で仕事をする事について、どのように児童生徒に伝えていますか。	町長 教育長
			⑥ 圏域の諸団体や企業、教育機関と連携した取り組みへのお考えや実績は。	町長 教育長
			⑦ 産学官民と連携をし企業の魅力を伝えるため「中小企業振興条例」の制定について、見解はいかがでしょうか。	町長
9	新坂 哲雄	1 県道33号線歩道計画について	① 土木事務所より工事説明を受け、工事区間が約700mの予定で、令和7年度から工事との事であったが、通学路確保のため、長田峡までの残り200mの工事延長を県へ要望出来ないか。	町長
		2 有害鳥獣駆除について	② 工事が始まると、迂回道路としてめがね橋を使用するが、大型車輛等が通れるように橋の幅を拡張出来ないか。	町長
		3 町立図書館前の樹木について	① 捕獲頭数90頭の制限緩和は出来ないか。(都城市は無制限である)	町長
10	楠原 更三	1 文化財について	① 文化財保存調査委員及び文化財調査専門委員を置く予定は。	教育長
			② 郷土芸能を町指定の無形民俗文化財にできないか。	教育長
			③ 次の(1)～(5)は指定文化財として新たに指定又は県へ申請できないか。 (1)牛の峠の「石柱」及び一等三角点・天測点 (2)覆輪目地のある煉瓦倉庫 (3)石橋 (4)仮屋の石敢當近くの石蔵 (5)からねこどん	教育長
			④ 梶山城跡の国指定への行程表(日程を含む)と現在の状況。	教育長
		2 三股町景観条例にある重要物の指定について	① 三股町景観審議会を設置したことがあったか。	町長
			② 梶山城跡周辺の麓集落及び上記1-3の(2)～(4)を景観重要建造物として指定できないか。	町長
		3 三股町樹木等の保存に関する条例・三股町環境緑化条例・三股町公園条例について	① 三股町緑化計画審議会が開かれたことはあったか。 (1)この条例で指定された保存樹木はあるか。 (2)「町の木」や「ハートな木」などは保存樹木の対象樹木とならないか。	町長
② 町内の都市公園内にある危険な状態の古木の対応は。	町長			